

COC



「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」とは

文部科学省の平成27年度補助事業のひとつであり、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組みを支援することにより、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的としています。補助期間は5年間で、卒業者の地元就職率の向上と新規雇用創出等を目標として掲げています。

「地(知)の拠点大学(COC大学)」とは

文部科学省が平成25年度から「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」により取組みを進めてきたものであり、自治体等と連携し全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進めることにより、地域再生・活性化の拠点(地域コミュニティの中核的存在: Center of Community)として認められた大学です。岩手県内では平成25年度に岩手大学が、平成27年度に岩手県立大学が文部科学省の認定を受けています。

事業推進組織

「ふるさといわて創造プロジェクト」の主幹大学である岩手大学を中心に、岩手県内の高等教育機関、岩手県、市町村、企業団体等による「ふるさといわて創造協議会」を設置し、岩手県全体のステークホルダーのニーズを受け止めながら事業全体の計画を策定し実施していきます。

岩手県立大学では、大学の基本的な方向性の決定を行う「地域創造会議」、全学的な意思形成・情報共有を担う「COCプラス推進委員会」、事業の全体調整・総合窓口等を担う「COCプラス推進室」を設置し、それぞれの事業分野を所掌する地域連携本部、学生支援本部、高等教育推進センターとの緊密な連携のもとに事業を推進します。

文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」

ふるさといわて 創造 プロジェクト

産学官と地域で「つなぐ」
人材の育成と定着



岩手県立大学は、第二期中期計画(平成23年度～平成28年度)において「地域の中核人材育成と活力創出に貢献する大学」を目指し、「学生を主人公とした教育」と「岩手の活力を創出する研究・地域貢献」の推進に取り組んできました。

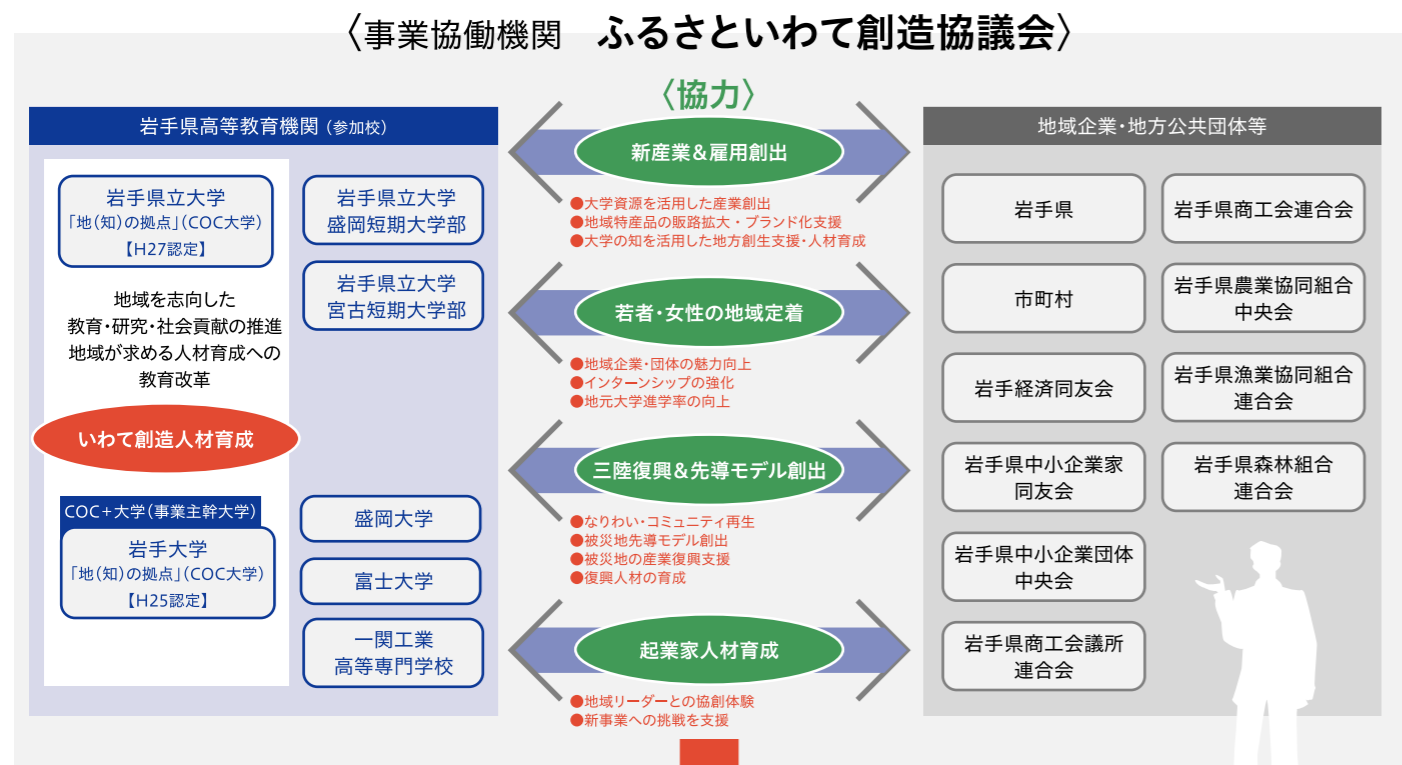
「地(知)の拠点(COC)大学」として、これまでの実績をさらに発展させ、地域社会を支え各分野のリーダーとして、地域課題解決の中心的役割を担う人材の育成と、地域の雇用創出・学生の地域定着に向けた取組みを強化していきます。



地域の雇用創出と学生の地域定着

産学官と地域で「つなぐ」 いわて創造人材の育成と定着 **ふるさといわて創造プロジェクト**

岩手大学と岩手県立大学が連携し、岩手県内の大学・短期大学・高等専門学校や地方公共団体、企業等と協力しながら、地域が求める人材(いわて創造人材)の輩出と地域産業の活性化・地方への人口集積等の推進を目的として策定したプロジェクトです。平成27年度には、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の1つに採択されました。



人材の輩出と地域産業の 活性化・地方への人口集積

| 目標 | 内容 |
|----|----------------------------|
| ① | 地元就職率10%増(45%→55%) (155人増) |
| ② | 雇用創出数16人以上(①の10%) |
| ③ | 事業協働機関満足度100% |

いわて創造人材の育成と定着

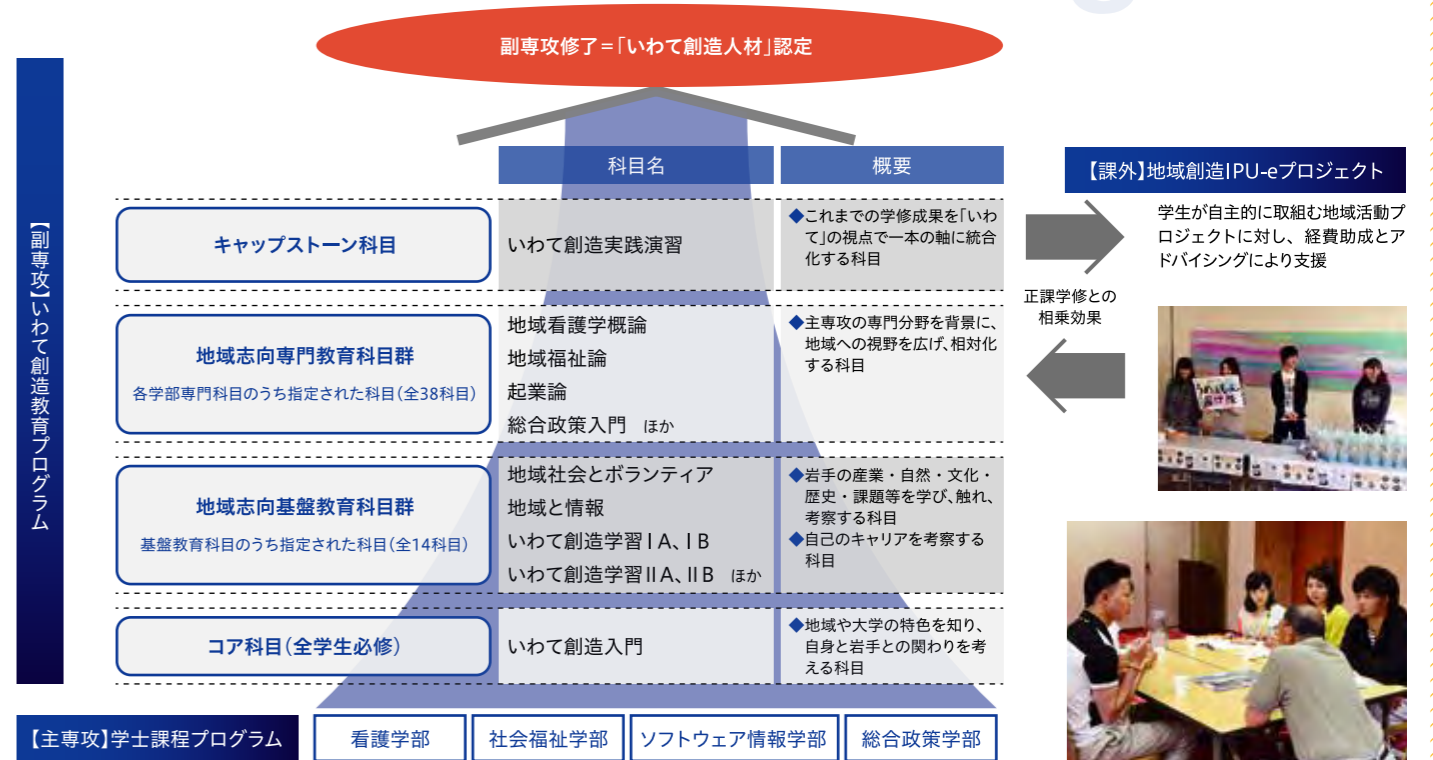
主専攻である学士課程(看護学、社会学、ソフトウェア情報学、総合政策学)の専門領域を活かしながら、地域をテーマとして学部横断的に学ぶ副専攻「いわて創造教育プログラム」を平成28年度に設置します。

この副専攻では、地域(いわて)をキーワードとして体系化した「地域志向科目」を履修することにより、右の4つの能力を養成することを目指しており、所定の単位数を修得して修了した学生に「いわて創造人材」認定証を授与します。

(養成する4つの能力)

- いわてを知り、理解する力(情報収集力・理解力)
- いわてを説明する力(発信力)
- いわてをつなぐ力(コミュニケーション力、組織力、実践力)
- いわての未来を創造する力(課題解決力、企画力、行動力、創造力)

いわてを知り、いわてに学び、 いわての未来を創造する **いわて創造教育プログラム**



① 教育の力で「つなぐ」

- 主専攻の専門領域を活かした学部横断型副専攻「いわて創造教育プログラム」の設置
- 岩手県内各地での宿泊型フィールドワークを通じて地域の現状と課題を学ぶ「いわて創造学習」科目(H25～H27「地域創造学習プログラム」の正規科目化)

② 学生の手で「つなぐ」

- 学年混成型授業として上位年次の学生の企画力・実践力を活用する「いわて創造学習」
- 地域企業商品開発・マーケティング活動等への学生の参画
- 学生の地域コミュニティ活動、復興支援活動等への参加を積極的に支援し、課外活動による自発性・実践力養成を目指す「地域創造IPU-eプロジェクト」の実施

③ 研究の力で「つなぐ」

- 地方創生支援チームによる自治体の地方創生総合戦略の取組みへの組織的な支援
- 地域提案型、教員提案型の地域協働研究
- 「いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター(i-MOS)」と滝沢市IPUイノベーションセンターとの連携によるイノベーションパーク計画の推進

④ 地域の手で「つなぐ」

- 地域力を活用したアクティブ・ラーニングの導入拡大
- 地域中核人材を活用したキャリア教育、地域をフィールドとした課題解決型学習の推進

地域が求める
人材と地域創生事業を
「つなぐ」